

はこぎじんじゃけいだいりん

箱崎神社境内林

指定種別：市指定文化財

指 定 日：平成 23 年 2 月 24 日

所 在 地：釜石市箱崎町

樹 種：ナンブアカマツ、ヤブツバキ、
キハギ、バイカツツジほか



ナンブアカマツ

箱崎集落の北東部に位置する箱崎神社は、延享 5 (1748) 年に勧請し、譽田別命（応神天皇）と綿津見命を祀っています。元来は箱崎集落の中心部、沼川下流に創建されましたが、文化 3 年に現在地に遷宮されました。

元和 2 (1616) 年、片岸浦や釜石浦で捕れた鮭を江戸に密売した罪で自害した大槌孫八郎広信の嫡子三徳丸は、大槌より金剛院に逃れ、さらに小川に落ち延びたという伝説がありますが、この金剛院は箱崎神社本殿の山手の平坦部にあったとされ、この付近は通称「お山」と呼ばれています。

箱崎神社境内林は、岩手の木ナンブアカマツを主とした巨木が林立しています。岩手県中部沿岸を北限とする低木層のヤブツバキやツクバネ、キハギ、バイカツツジなどや、草木層のマルバキンレイカやジャノヒゲなどの希少種が含まれており、特異性をもっています。